

「日本統治下の清酒・焼酎製造の資料」+「朝鮮酒造史」+「ソウルの光化門の変遷」 (1/4 page) 2010.11.25/t.kita



「Sansawon」、「家醸酒文化館」という酒の博物館。 ソウルから車で北に1時間半ほどの距離にある。

http://sansawon.co.kr/jp/gallery.html

名前通り、韓国伝統の家醸酒(自家製酒)の資料を展示してい るのだが、日本統治時代の清酒や焼酎の記録や展示物もある。 これは、当時の清酒や焼酎のラベル、銘柄入り通い徳利など。



日本統治時代の資料:朝鮮酒造組合の会報、京城 辻村商店(辻村商店は戦前まで大阪で盛業した醸 造用品店。ソウルに支店があった)の読本、正勝醸造 の定款、馬山酒造組合の書類、光州麯子の封筒。





屋外には貯蔵壺を並べたスペースがあり、古い日本製 の醸造機器もある。「昭和11年」の銘板の「永田式高 速度洗米機」や、戦前のものと思われる一升壜。奥に は素晴らしい庭園と木造建築がある。











in Korea (4 pages) /101125/tk

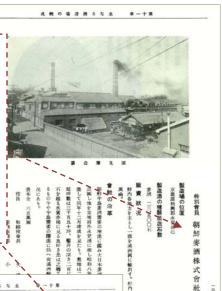


「日本統治下の清酒・焼酎製造の資料」+「朝鮮酒造史」+「ソウルの光化門の変遷」

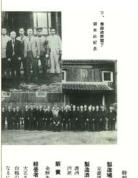
(2/4 page) 2010.11.25/t.kita

「朝鮮酒造史」(昭和 10 年発行)から抜粋 - ex libris /t.kita

「朝鮮麦酒」(使用ブラ ンドは「サッポロ」と「アサ ヒ」)と、「昭和麒麟麦 酒」は、同じ場所(京 畿道永登浦)に進出。 戦後、朝鮮麦酒は Crown をへて Hite ビー ルに、昭和麒麟麦酒 は OB ビールに引き継 がれていった。

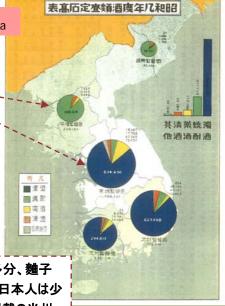


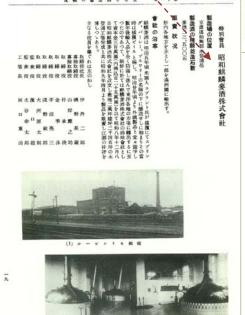
昭和8年の課税石数。現在の韓国側は 濁酒、北朝鮮側は焼酎が圧倒的だったこと が判る。清酒(赤色)はごく僅か。



いたのだろう。

「朝鮮麯子」は多分、麯子 最大手。役員に日本人は少 ない。前ページ掲載の光州 麯子はじめ、20 社程度の麯 子の会社が掲載されている。 清酒麹の会社は見当たらな いが、たぶん日本から送って





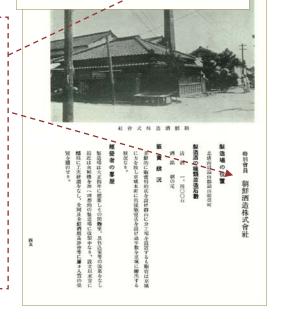
清酒メーカー3例:

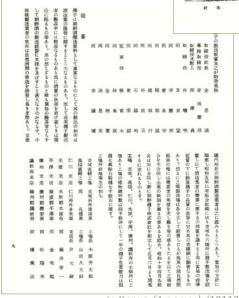
「斉藤酒造」(金千代)は、平壌工場と京 城(ソウル)工場を合わせて最盛期に約2 万3千石。朝鮮最大、日本内地を含め ても最大規模の蔵元の一つだった。

「増田屋」(鮮鶴)は白鶴の出資で、後に 嘉納醸造(朝鮮白鶴)。大手の中で最も 早く朝鮮の製造に進出したのが白鶴。

「朝鮮酒造」(朝の花)は、戦後「白花醸 造」、財閥の斗山 Doosan による買収をへ て、現在の LOTTE (の酒類部門。清河を 製造)につながるルーツの蔵元。

終戦時には、清酒メーカーは 119 あった。





in Korea (4 pages) /101125/tk



歴史小論:ソウルの光化門の変遷 かつて「朝鮮総督府」のあった「景福宮」とその正面の門、「光化門」は日本ときわめて関係が深い。お酒と直接関係なくて恐縮だけれど、景福宮と光化門の歴史についての小論。

<1905年—1910年>1905年に日本は韓国を保護国とし、韓国「総監」府を置く。場所は現在の南山公園近く。 5年後の1910年に日本は「韓国併合」を行い、「総監」府は「総督」府となった。当初は総監府と同じ場所だったが、1912年に景福宮内に移すことが決定された。

<1912 年: ● 写真 1 ●> まだ、景福宮内に総督府建物が 立つ前の「光化門」の絵葉書。(京 都、高麗美術館の絵葉書) 大正元年 (1912 年)の消印。へチ像に立つ 少年。

真正面の写真なので、門の奥には 景福宮の主宮「勤政殿」があるは ず。後述の軸線(角度や東西方 向)の問題もあるが、ずいぶん南で もあった。



and also of learning, Korea



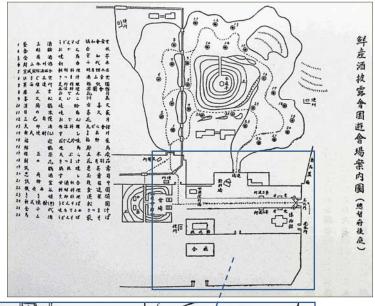
<1930 年頃:● 写真 2 ●>

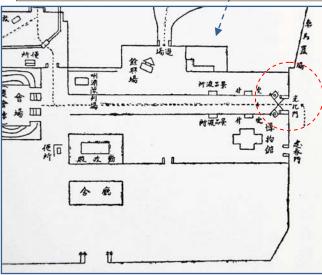
韓国総督府建物は1926年に完成。その絵葉書(-t.kita/post card archives)と、航空写真。 王宮の勤政殿は総督府の後ろに隠されてしまった。光化門は、当初取り壊される予定だったが、 反対意見があって建春門の北に移築された。



摩と々堂・に空大 oい深よいよい・は空大の碧紺

6安の民市・「「仰を府行榜鮮朝、敦誠的階級だし





<1932 年:● 写真 3 ●> 光化門、建春門、総督府(廳舎)、勤政 殿の位置関係が分かる資料、「鮮産酒披露会園遊会場案内図」。(「朝 鮮酒造史」から - ex libris /t.kita) 1932 年(昭和7年)10月8日、総督府 (景福宮)の後庭で、朝鮮製清酒59点、薬酒28点、焼酎13点の唎 酒会、および、26銘柄の清酒、焼酎による模擬店・園遊会が行われた。



<1990年:● 写真4 ●>

光化門は朝鮮戦争で1950年に焼失したが、1963年に旧総督府(戦後は米軍庁舎を経て、韓国政府庁舎)の前に、鉄筋コンクリート製で再建された。この時、光化門は、勤政殿の南北軸線上でなく、旧総督府建物の正面に合わせて再建された模様。これは、インターネットで見つけた、1990年の年号がある旧総督府建物(当時、国立中央博物館)と光化門が併存する絵ハガキ。



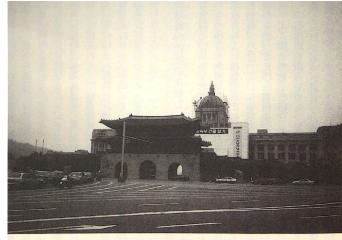
구 조선총독부청사 철거직전의 광화문 (1990년대 초)

は昔の状態に近づいたが、前述のようにその軸線が僅かにずれていた。まだ最新情報に 更新されていない google マップ。

<2006 年頃: ● 写真 6 ●>1996 年から旧総督府建物は消滅し、景福宮と光化門







景福宮光化門と旧朝鮮総督府建物

<1995年:● 写真5 ●>

韓国国民の大勢の賛同のもとで、1995 年(=日本の植民地支配から解放された、光復節 50 周年)に、旧総督府建物は取り壊された。 写真は、取り壊しの足場が組まれているところ(「日本植民地探訪」大江志乃夫)。なお、国立中央博物館は、龍山に移された。



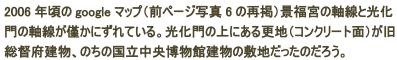


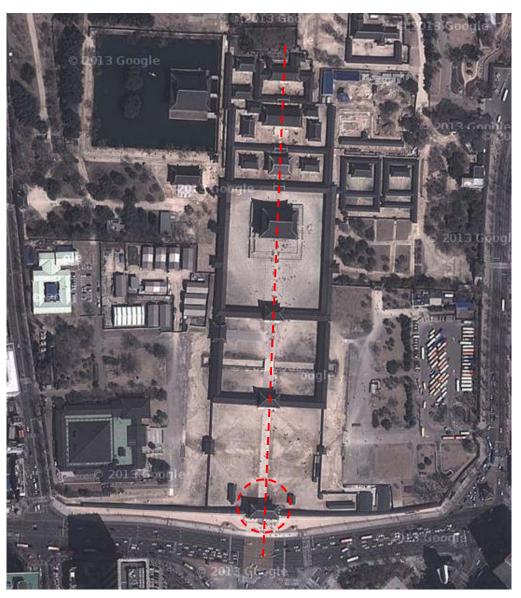
<2010 年: ● 写真 7 ●>2006 年から移設・復元工事を開始。日韓併合 100 年にあたる 2010 年 8 月、光化門はその位置を僅かに移し、オリジナル通りの木造建築として、ついに勤政殿の軸線上に戻った。

2 枚の写真は 2010 年 10 月の出張で撮影。移設なったばかりの光化門の正面と、私自身が写っているのは勤政殿中央から光化門方面を撮った写真。分かりづらいが、勤政門を通して、かなたの光化門がまっすぐの軸線上に見通せる。









2013 年に更新された google マップの航空写真。 景福宮と 光化門の軸線が一直線になったことがわかる。